

7月27日オープン!

工事着々と進行中!



3月30日現在の現場状況

工事用の足場も外され、いよいよ文化創造センター ala がその雄姿を現した。

まずは、アールクルーズの皆様へご挨拶

可児市文化創造センター館長 桑谷哲男

いよいよ満を持して「文化創造センター」は、建築完成にむかってゆっくりと翼を広げ始めました。共に見続けてくださったalaクルーズの皆さんにとってもその喜びは、ひとしおの事と思われま

す。
さて、「市民参加型の劇場」というのは、全国的に見ても非常に特異なスタイルであり、その先駆けとなる皆さんの活動は注目をあびることとなります。活動評価や成果が表れるには、10年近くの年月を必要とされると言われますが、まずは楽しみながらゆっくりと活動していただければと思います。

市民の皆さんや専門家、財団が「文化創造センター」で行う、上演活動、表現活動、ワークショップ、人材育成など、多彩な創造活動を支援することを第一主義とした市民組織が可児市から誕生したことは、私どもにとってもこれ以上の喜びはありません。今後とも21世紀にふさわしい市民に開かれた公立劇場を創るために、どうかご支援ご協力をお願い致します。

可児市民待望の、ala開館まで残すところ4ヶ月となり、いよいよ実践の日が目前に迫り、これまでに私たちが学びそして、経験してきたことはこれから活動する上で、ほんの一部に過ぎず、期待と不安が交錯する複雑な思いがします。

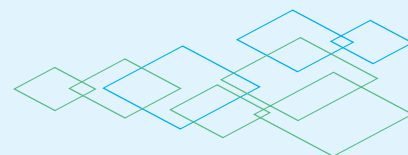
今後のalaクルーズの活動は、将来のあるべき姿を考え、方向性を模索しながら思考錯誤の活動が続くと思いますが、その基礎作りのスタートであり、「継続は力なり」を念頭に、地道ながらできることを着実に積み重ねることこそが、alaクルーズの“実績”となり“力”となり、市民権を得た「市民組織」になると考えます。

今、私たちが行おうとしていることは、先進的でマニュアルのないことであり、それだけに変なことはありませんが、会員一人一人が胸を張って開館を迎えたいと思います。

次年度への抱負など

アールクルーズ会長

澤野親司



創造企画グループ活動報告

alaクルーズ設立以来、はや4ヶ月が経ち、その間「手作りレンガ事業」「うるおいコンサート事業」の実践事業も無事終了することができました。これらの



プロジェクトに参加された皆さんには、この経験が今後活動を行っていく上に於いて、自信につながると思います。

会員の皆さんからの提案事業の検討も終わり、新しいプロジェクトが実施に向け活動をはじめました。また、ala開館時の事業など新年度事業の検討も進めております。

月1回の企画・創造グループ



の定例会議をはじめ、各事業のプロジェクト会議も随時開かれており、年度当初の事業計画も順調に終わることができたと思います。

支援グループ活動報告

支援グループは活動の勉強と交流を兼ね、「長久手文化の家」を訪れてきました。文化の家ボランティアの方々が実際に活動する姿を見学させていただき、



それに自分たちの姿を重ねあわせることで今後の活動に非常に参考になりました。

更に「長久手文化の家」は「ala」と同じ設計者が手がけた為、alaオープン時の雰囲気を感じ体験しながら見学できた点も有意義であったと思います。

また、「劇場マナー講座」を通じて接遇における基本的なマナーを学びました。



特に支援グループは接遇の機会が多いので、今後も定期的に研修していくことが必要であると考えています。

広報グループ活動報告

広報グループでは、alaクルーズ発足以来、広報誌（創刊準備号）の発行や、「うるおいコンサート」のポスター、パンフレット、チラシ等の制作、「レンガ作り」や「うるおいコンサート」のビデオ撮影をしてきました。

広報グループの特徴は、20名という少人数ながら、会議への出席率もよく、皆が積極的に参加していることでしょう。

会員のそれぞれの特技を分析すると、大きくはパソコンとビデオの2つのグループに分けることができそうです。たとえばパソコングループの場合、会議で提案されると次の週にはパソ

コンで制作したカラーのポスターが何種類も並び、広報誌の記事が並び、そこで検討したものが次の週には完成してくるといった具合です。

ビデオのほうも手持ちの機材を駆使して撮影編集をし、記録保存を進めています。文化センターが完成したら、センターの機材もしっかり研修して、いつでも対応できるようにしたいと思っています。

まさに「人と文化を結び育む」ところの一翼を担い、少数精鋭で市民の皆様へ情報提供したいと思っています。



(財)可児市文化芸術振興財団からのお知らせ

文化創造センター・オープニング事業

*入場料金およびチケット発売日は未定です。なお、日程等が変更する可能性もありますので今後発行するチラシ等によりご確認ください。

日 程	会 場	演 目
7月27日(土) 28日(日)	全館	オープニング、市制施行20周年記念式典など
8月4日(日)	宇宙のホール	NHK「のど自慢」
8月23日(金)	宇宙のホール	和太鼓「豊穰の会」
8月23日(金) 24日(土)	虹のホール	演劇 こどもの劇場「ふたごの星」
8月24日(土)	宇宙のホール	演歌 「伍代夏子コンサート」
8月31日(土) 9月1日(日)	虹のホール	こどもの劇場「ヒダマリオネット・シアター」
9月21日(土)	宇宙のホール	ジャズ 出演者「森山威男加テット、ゲスト 山下洋輔、坂田明、ケイコ・リー、近藤房之助ほか」
10月17日(木)	宇宙のホール	演劇 「こまつ座公演」
10月27日(日)	宇宙のホール	チェコ・ブラハ管弦楽団 ゲスト：吉鷹奈津子
11月11日(日)	虹のホール	演劇 「劇団二兎社公演(永井愛新作戯曲)」
11月17日(日)	虹のホール	コンテンポラリーダンス 「ダイバージョンズ日本初公演」
11月22日(金)	宇宙のホール	ゴスペル 出演者「亀淵友香、VOJA、和太鼓奏者ヒダノ修一」
11月30日(土)	虹のホール	演劇 白石加代子「百物語」特別編
12月7日(土)	宇宙のホール	ミュージカル 「宮本亜門のアイ・ガット・マーマン」
12月14日(土) 15日(日)	虹のホール	演劇 「土田英生プロデュース公演」
12月21日(土)	虹のホール	ブラジル音楽「ショーロ・クラブコンサート」
12月21日(土) 22日(日)	宇宙のホール	「コシミハル・ミュージックホール」
1月18日(土)	宇宙のホール	ヤング・ミュージック・フェスタ
2月16日(日)	宇宙のホール	地歌舞伎公演
2月8日(土)	虹のホール	クラシック「藤原由紀乃ピアノコンサート」

おもな施設利用料金

休館日：火曜日

開館時間：午前9時から午後10時30分まで

午前9時から午後10時30分までの全日使用の場合

*入場料の額が1,000円以下の場合の料金です。

主劇場(宇宙のホール) 89,000円

小劇場(虹のホール) 34,400円

音楽ロフト 8,200円

演劇ロフト 8,800円

美術ロフト 9,800円

バンド練習などができる、楽器備え付けの音楽練習室の
利用料金は、1時間あたり1,000円です

*施設利用について詳しくは、財団発行の「利用案内」をごらんください。

レンガ作り

可児市文化創造センターの入り口通路に敷き詰められるレンガに、市民の皆さんがイラストや文字を描き、記念に残したいという催しが、1月20日可児工業団地内のニッタイ工業様の協力を得て行われました。この催しは市文化芸術振興財団とalaクルーズが企画し、約300名の市民が参加しました。

このレンガはささゆりクリーンパークでのごみ処理の最終段階で残る溶融スラグを材料の一部に使用したりサイクル品です。材質が粗く均一でないため、細

かな文字などは無理でしたが、それでも定められた時間内に仕上げ満足して帰られました。

歩道に埋め込む工事は4月下旬頃の予定です。オープンの日には参加者の皆さんは自分の描いたレンガがどこにあるか探すのが楽しみとなるでしょう。

この催しはalaクルーズとしては最初のイベントで、多少不

慣れな面はあったものの、参加された皆様が満足して終わられたことで成功とっていいでしょう。

ご夫婦、親子など家族の思い出作りとして参加された方が目立ちました。



アーラアーツスクールマナー講座

2月22日午前10時より午後5時まで開催された「マナー講座」では、講師に星野もと子先生をお招きして「おもてなしの心」を教えて頂きました。支援グループを中心に70人程のalaク



ルーズメンバーが集まりました。講義の内容は、文化創造センターを利用される人々（出演者

及びスタッフ、観客等）への接し方。「服装」・「言葉遣い」・「立ち居振る舞いに」至るまでそれはこと細かく注意をはらわなければならないということでした。普段の生活では経験の浅い「接客」。慣れない姿勢やお辞儀の仕方に筋肉痛になりそうになったり、言葉遣いには

舌を噛みそうになったりととまどうことばかり、とても楽しい講義でした。



背筋を伸ばしまっすぐに立つのも、なかなか難しい。

第3回うらおいコンサート「きらめく春の響」

3月3日午後2時より中恵土公民館ホールで行われた「第3回うらおいコンサート」は晴天に恵まれ、集まったおよそ160人の聴衆はうららかな午後のひととき、金管五重奏の文字どおり「きらめく春の響」を楽しんだ。



この催しは、可児市文化創造センター「アーラ」を支援する市民グループ「アーラクルーズ」が初めて企画・制作しました。出演者は可児市在住の、星順治さん（トランペット）、亀島克敏さん（トランペット）、野々口義典さん（ホルン）、今村照行さん（トロンボーン）、森田和央さん（トロンボーン）らが所属する「名古屋ブリリアントブラスクインテット」によるものでした。

2部構成からなる演奏会は、1部ではそれぞれの楽器のなりたちや特徴などがわかりやすく説明され、2部では「グリーンズ

リーブス」など、誰でも一度は耳にしたことがある有名な曲（全12曲）を作曲者やアレンジャー、曲が作られた背景などの話を盛り込んだ演奏でした。

訪れた聴衆からは「生の演奏はとても迫力があった。」「小さい子どもにもわかりやすかった。」「音楽が身近に感じてまた聴いてみようと思う。」「金管楽器でもいろいろな音が表現できることがわかった。」など「良かった。」「楽しかった。」「次回も期待する。」という声が聞かれました。

